



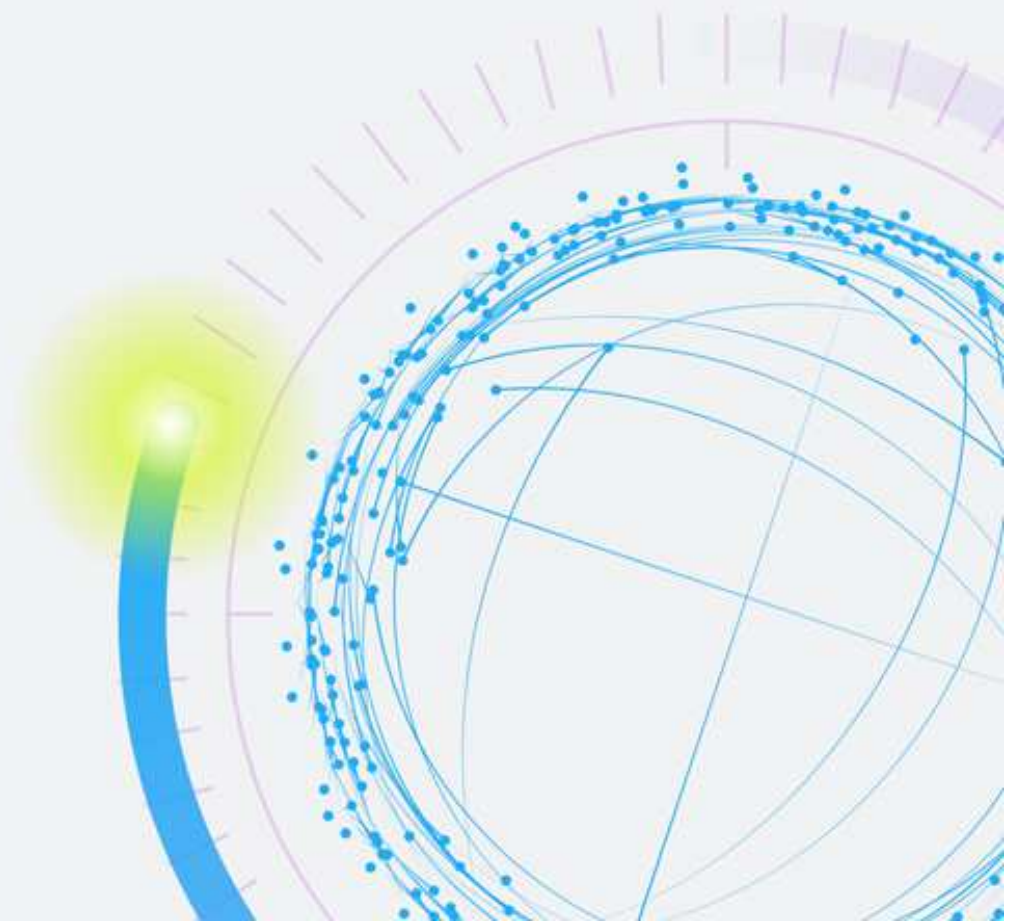
InfluxData ケーススタディ (サンプル版)

ボルボ・カーズ

InfluxDB を使用してカスタム DevOps モニタリング

ツールを構築

データ駆動型アプローチによるモニタリングで問題解決力を強化し、生産の遅延や停止を削減



サンプル版の為、一部の記載を省略させていただきます。ご興味が合わる方は、日本代理店までご連絡をお願いいたします。

会社概要

ボルボ・カーズは、スウェーデン ヨーテボリのトルスランダに本社を置く、スウェーデンを代表する高級自動車メーカーです。スポーツユーティリティビークル、ステーションワゴン、ハッチバック、セダン、コンパクトエグゼクティブセダンを製造・販売しています。

導入事例の概要

ボルボは 15 年以上にわたって DevOps モニタリングソリューションを使用してきました。しかし今や時代遅れとなり、開発者が必要とする情報を提供できなくなりました。IT の問題が生産現場に影響を及ぼし始めたことで、現状を打破する必要に迫られました。そこでボルボの DevOps Enablement チームは、InfluxDB と Grafana を使用して、実践的なインテリジェンスを提供する新しいダッシュボードとツールを構築しました。これにより、ボルボの開発者は、既存の問題に対処する代わりに問題をプロアクティブに検知して速やかに解決することで、生産の遅延や停止を回避できるようになりました。

ビジネス上の課題

ボルボの DevOps Enablement チームは、全社の開発者に向けたサービスプロバイダーであり、社内指標として機能しています。チームは DevOps のモニタリングに関していくつかの課題に直面していました。1 つは、あまり役に立たないレガシーモニタリングソリューションでした。15 年以上も運用されてきたこのレガシーシステムは、ボルボの IT コンポーネントの 99.8% をその技術で監視していました。しかし単にデータがあるだけでは企業をデータ駆動型にすることはできません。一見広範囲をカバーしているようですが、このシステムの設計は時代遅れで、開発者が求める実践的なデータを生成することはできませんでした。

使用した技術： InfluxDB、Grafana、Kafka、Telegraf

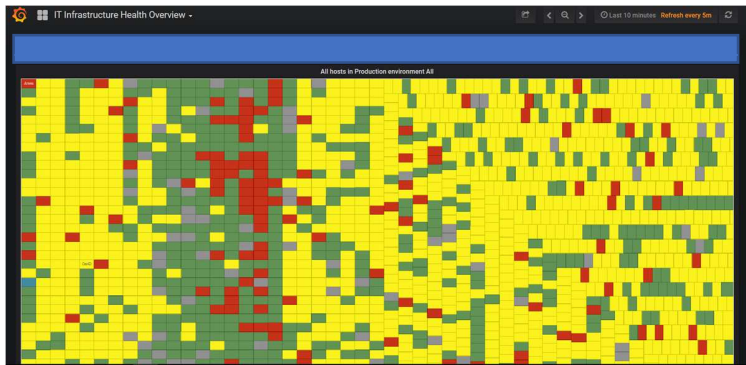
しきい値が間違っても設定されてもチームメンバーが修正を怠るので、開発者には、問題が致命的なレベルに達して手遅れになる前に把握するすべがなかったのです。IT 関連のインシデントや問題は増加の一途をたどり、工場現場の中には製造業務に悪影響が及ぶフロアもありました。製造業では一旦生産工程が停滞すると深刻な事態に陥ります。

レガシーソリューションは、DevOps Enablement チームにとって技術的な側面だけでなく、人の面にも課題がありました。システムから生み出されたすべてのデータにアクセスできるのは 1 つの小さなチームだけでした。重要な情報を適切な人に適切なタイミングで伝える責任を負っているのがこのチームでした。この透明性の欠如もまた、解決しなければならないもう 1 つの課題だったのです。

DevOps Enablement チームは、全社の開発者がアクセスし、各自の指標を追跡するために使用できる一元化されたリポジトリを提供したいと考えていました。そして、開発者が社外のソリューションを探すことなく、独自のしきい値を設定して、変化するニーズを管理できるインフラストラクチャとツールを提供することにしました。

技術的な課題

問題をより良く理解するために、DevOps Enablement チームは、ボルボのすべてのサーバーの状態を可視化する Grafana ダッシュボードを構築しました。



上の画像を見ると多くの問題が存在していることが確認できます。しかし、この方法で状態を知るだけでは問題は解決しませんでした。チームは、これらの問題にどこから手を付けるべきか苦慮していました。問題がどこにあり、どのように解決するかを判断するまでには、多くの時間と労力が必要でした。

問題の数が増えるにつれ、解決までに時間がかかり、優先順位付けをする前に状況が悪化していきました。そのため、対応は常に後手後手に回ったのです。DevOps Enablement チームは、現状を変える必要があることを痛感しました。

ソリューション

サンプル版の為、省略

結果

サンプル版の為、省略

InfluxData について

InfluxData は業界をリードする時系列プラットフォームである InfluxDB を開発した企業です。Cisco、IBM、Lego、Siemens、Tesla などの開発者や組織が、革新的な IoT、分析、監視アプリケーションを構築できるよう支援しています。当社の技術は、センサー、アプリケーション、コンピュータインフラストラクチャから生成される大量のタイムスタンプデータを処理するために構築されています。

InfluxDB は簡単に導入して拡張することができるため、開発者はアプリケーションの競争力を高める機能の開発に集中することができます。InfluxData はサンフランシスコに本社を置き、従業員は米国およびヨーロッパ全域で活躍しています。詳細については、www.influxdata.com にアクセスし、[@InfluxDB](#) をフォローしてください。

[詳細はこちら](#)

InfluxDB ドキュメント、ダウンロード、ガイド

InfluxDB をダウンロードする (英語)

InfluxDB をダウンロードする (英語)	https://www.influxdata.com/get-influxdb/
ドキュメントを入手する (英語)	https://docs.influxdata.com/
その他のケーススタディ (英語)	https://www.influxdata.com/_resources/
InfluxDB コミュニティに参加する (英語)	https://www.influxdata.com/community-showcase/



799 Market Street

San Francisco, CA 94103

(415) 295-1901

Web: <https://www.InfluxData.com>

Twitter: @InfluxDB <https://twitter.com/influxdb?lang=en>

Facebook: @InfluxDB <https://www.facebook.com/influxdb/>

日本での販売代理店：

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

AIビジネス部／DSビジネス推進部

〒105-6950 東京都港区虎ノ門 4-1-1

神谷町トラストタワー

influxdb-sales@ctc-g.co.jp

[InfluxDB 紹介ページ（日本語）：](#)

<https://www.ctc-g.co.jp/solutions/influxdb/>

[エンタープライズ版照会ページ（日本語）：](#)

<https://www.ctc-g.co.jp/solutions/influxdb/?menu=2#detail-top>

[事例資料ダウンロード・ページ（日本語）：](#)

<https://www.ctc-g.co.jp/solutions/influxdb/?menu=4#detail-top>